

2026 安全報告書



株式会社江ノ電バス

もくじ

| | | |
|----|---------------------------|-----|
| 1 | 利用者はじめ沿線のみなさまへ | P1 |
| 2 | 輸送の安全に関する基本方針 | P2 |
| 3 | 輸送の安全に関する目標・実施結果 | P2 |
| 4 | 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計 | P3 |
| 5 | 輸送の安全を確保するための取組み | P3 |
| | ・一般貸切旅客自動車運送事業者が報告すべき事項 | P11 |
| 6 | 内部監査結果及び改善措置 | P13 |
| 7 | 2025年度輸送の安全に関する業務計画 | P13 |
| 8 | 輸送の安全に関する組織体制 | P14 |
| 9 | 安全統括管理者 | P14 |
| 10 | 安全管理規程 | P14 |
| 11 | ご連絡先 | P14 |

1 利用者はじめ沿線のみなさまへ

平素より江ノ電バスをご利用いただき誠にありがとうございます。
また、弊社バス事業に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

弊社 経営理念であります、この地域に集う人々の「かけがえのない時間（とき）」、「やすらぎの心」、「ゆたかな暮らし」の実現に貢献するため、経営トップを含めた全従業員が一丸となって、安全管理体制の構築に努めております。

本報告書は、旅客自動車運送事業安全管理規程第17条に基づき、2025年度に実施した弊社の取り組みについて、ご理解をいただくために作成いたしました。

皆様に安全と安心をお届けできますよう、継続的に取り組むとともに、安全と信頼の向上を目指してまいります。

株式会社 江ノ電バス 取締役社長 小山 幸一

2 輸送の安全に関する基本方針



3 輸送の安全に関する目標・実施結果

安全管理体制を構築するためにすべての事故を計上して、原因を分析し対策を講じております。

2025年度の輸送の安全に関する目標と達成状況は以下の通り有責重大事故につきましては1件、発進時の車内事故につきましては前年比 +1件 であり、6件発生いたしました。

| 重点目標 | 2025年度 | 実施結果 |
|--------------|--------|-------------|
| 有責重大事故ゼロ | 1件 | (2024年度 1件) |
| 発進時の車内人身事故ゼロ | 6件 | (2024年度 5件) |

4 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

自動車事故報告規則第2条に該当し、国土交通省へ報告した事故件数は、2024年度は1件でしたが、2025年度も1件の報告をいたしました。車両故障件数につきましては2024年度と同様に0件です。

| 内訳 | 事故件数 | 車両故障件数 |
|-------|------|--------|
| 江ノ電バス | 1件 | 0件 |

《参考》 自動車事故報告規則第2条の概要（事故・車両故障）

- ・ 死者または重傷者を発生させた事故及び、病院に入院することを要する傷害で医師の治療を要する期間が30日以上のもの、または14日以上病院に入院することを要する傷害を受けたもの。
- ・ 操縦装置または、乗降口の扉を開閉する操作装置の不適切な操作により11日以上医師の治療を要する傷害。
- ・ 操縦装置、制動装置等道路運送車両法第41条に掲げられた装置の故障により自動車が運行できなくなったもの。

5 輸送の安全を確保するための取組み

輸送の安全確保を目的として取り組んだ各種施策等（事故の分析・防止策の策定、新車購入、車両設備の改善、乗務員の安全教育等）について、以下のとおり実施いたしました。

（1）自動車輸送安全推進委員会の開催

全職場における輸送等の安全性向上を図ることを目的として、自動車輸送安全推進委員会を毎月開催しております。安全統括管理者が委員長となり、本社管理職、現業管理職で構成され、事故の調査・検討および事故防止対策を策定し、輸送の安全性向上に努めています。

（2）CS向上委員会の開催

本社管理職、現業管理職で構成するCS向上委員会を毎月開催し、お客様より頂いたご意見を生かしながらサービス向上に繋げております。お客様より頂きました称賛につきましては122件、（2024年度75件）前年比63%の増加、接客等のお問い合わせにつきましては73件、（2024年度61件）前年比20%の増加となりました。

(3) 安全風土の構築

安全意識の向上を目的に、ヒヤリハット情報等の収集に努め、営業エリア内の危険箇所を実際の映像を活用し、情報共有することで事故の未然防止に努めております。

(4) 表彰制度

運輸局、県警、バス協会からの表彰を頂き、社員のモチベーションおよび事故防止に対する意識向上につなげています。また、無事故表彰につきましては、一年間を通じて安全運転業務に努めたことを称え、社内表彰制度を導入しております。

| 社外表彰名 | 2025年度 表彰人数 |
|------------|-------------|
| 関東運輸局長表彰 | 3名 |
| 神奈川運輸支局長表彰 | 3名 |
| 神奈川県警本部長顕彰 | 3名 |
| 日本バス協会長表彰 | 3名 |
| 社内表彰名 | 2025年度 表彰人数 |
| 運転無事故表彰 | 294名 |

(5) 従業員教育

乗務員の更なる安全意識とお客様満足度の向上を図るため、以下の教育に取り組みました。

- ① 春・秋の全国交通安全運動、夏季・年末年始の輸送安全総点検での車内放送と運動看板の設置、ポスター掲出による事故防止の啓発活動を行い、全乗務員に対し事故の未然防止と安全意識の高揚を図ることを目的に経営責任者並びに安全統括管理者による職場巡視、早朝の点呼立会を実施、また交通事故防止講習を行いました。

| 運動種別 | 期間 | 日数 |
|-------------|------------------------|------|
| 春の全国交通安全運動 | 2025年4月6日～4月15日 | 10日間 |
| 夏季の輸送安全総点検 | 2025年8月1日～8月15日 | 15日間 |
| 秋の全国交通安全運動 | 2025年9月21日～9月30日 | 10日間 |
| 年末年始輸送安全総点検 | 2025年12月10日～2026年1月10日 | 32日間 |

② 運転スキル添乗指導

研修センター主任講師・指導主任運転士による一般・新人運転士の添乗を実施し、運転技術の向上に向け運転士の日頃の乗務状況を把握、技術面の弱点及び不足点を理解させるためのフィードバックを行い改善に取り組みました。

③ 添乗調査を実施

年3回の添乗調査により、接客・運転状況の確認を行い、乗務員へ調査についてのフィードバックを実施し改善を図り、安全運転とサービス向上に努めました。

④ 講習会の実施

所轄警察署による安全講話を実施し、交通事故防止や安全運転の重要性について学び、安全意識の向上と法令遵守の徹底について再確認しました。



⑤ 飲酒運転撲滅に向けた、従業員教育の実施

全国交通安全運動と同時期に実施した飲酒運転防止週間では、アルコールに対する知識を全従業員教育に取り入れ、アルコールインストラクターの有資格者による飲酒運転防止教育にも取り組んでおります。

⑥ 薬物事案発生防止教育

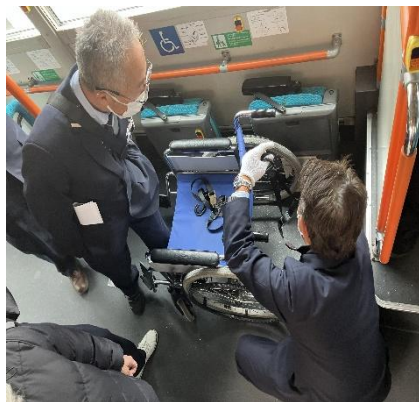
違法薬物の使用禁止について、全国交通安全運動講習期間中に意識高揚を図りました。

⑦ コンプライアンス教育

コンプライアンス通信の配信により違反事例を掲載し、法令遵守の必要性や社会良識・常識、社会規範や社内規定を熟知し、企業として公正・公平な業務遂行を図りました。

⑧ 車いす研修

2025年度につきましても車いすをご利用のお客様への乗降時の操作、及び非常扉取り扱いについて各営業所の乗務員、運行管理者に対し研修センター主任講師が中心となり研修を行いました。



* 湘南営業所内に設置している研修センターにて、安全安心と優しいサービスを提供できる人材の育成が出来るよう下記の通り教習を実施致しました。

⑨ 事故惹起者教育【研修センター】

事故惹起者については、机上での分析のほか、訓練車を活用した基本運転の再確認を行い再発防止に努めました。



⑩ 管理者研修【研修センター】

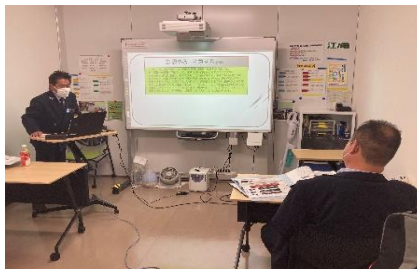
主任講師より、新たに任命された運行管理者を対象にした管理者としての職務における責任と、業務全般の基礎知識についての研修を実施いたしました。



⑪ 運転スキル向上・接客教育【研修センター及び外部教育】・雪山研修

主任講師による指導主任運転士の育成研修、新入社員研修、入社1年目運転士研修、貸切運転士を対象にチェーン装着及びブレーキ操作などの雪山、山岳路走行研修を実施いたしました。

外部機関での教育として小田原ドライビングスクールにて、運転スキル向上に向けた入社3年目研修や、事故惹起者を対象とした安全教育など、安全運転技術向上に向け取り組んでおります。



| 主催 | 開催日 | |
|---------------|----------------|-------------|
| 小田原ドライビングスクール | 運転スキル向上(3年目研修) | 2025年11月14日 |



(6) テロ対策、避難訓練等の実施

テロ対策としてバスターミナルでの警戒、起終点での車内点検等を強化しております。また、2025年度につきましても各営業所にて、非常扉の開閉確認と非常扉からの降車訓練を行いました。



(7) 地域における安全啓発活動

他の交通機関・行政機関・教育機関と連携し、各種イベントの開催時や安全啓発運動としての交通安全イベントに積極的に参加し、バス運転席からの死角体験や乗り方など、バスをより身近に感じていただける活動を行いました。



(8) 運転技術大会の開催

運転技術の向上と事故防止に繋げるため、2025年11月8日に所轄警察署主催による第10回運転技術大会を神奈川運転免許試験場にて行いました。各営業所から選抜された4名の運転士は試験科目として運転技能・車両点検・交通法規テストを行いました。



(9) 健康起因による事故防止と乗務員の健康管理

年2回の健康診断の他、近年、乗務中に突然の体調変化による事故が発生し、深刻な問題となっていることから、2016年度より脳MRI健診、2017年度より睡眠時無呼吸症候群（SAS）スクリーニング検査、2020年より心臓ドックを実施しております。

脳MRI健診・心臓ドックは、概ね5年毎 50歳以上の乗務員、睡眠時無呼吸症候群検査は概ね3年毎、全乗務員を対象とし受検することと定めております。

| 2025年度 脳MRI健診・心臓ドック実績 | 2025年度 睡眠時無呼吸症候群検査実績 |
|--------------------------|-------------------------|
| 38名 | 107名 |

(10) 適性診断の受診

乗務員の運転に関する長所、短所等を様々な測定により見出し、それぞれを自覚した運転に繋げるため、独立行政法人自動車事故対策機構による各種診断の受診を義務付けしております。受診結果は運行管理者より、受診者へのフィードバックを行い、事故防止に活用しております。

| 種別 | 対象者 | 受診時期 |
|------|-----------|-------------------------------------|
| 適性診断 | 一般運転士 | 3年に1回の受診 |
| 適齢診断 | 65歳以上の運転士 | 65歳に達した日から1年以内に1回、75歳に達するまで3年に1回の受診 |
| 初任診断 | 新人運転士 | 入社後、速やかに受診 |

(11) 津波発生を想定した対応訓練

バスの運行エリアでは、地震発生に伴う津波の発生が想定されることから全車両に避難マップ、防災受信ラジオを装備しています。

災害発生時に対策本部を設置する江ノ島電鉄自動車部と、対策支部となる江ノ電バスの各営業所、各案内所にMCA無線機を設置し非常時に備えております。2025年度は、8月29日にカムチャツカ半島沖を震源とした地震が発生したことにより津波警報が発令されたことを想定し、管理者より無線にて避難を指示、無線機情報伝達訓練を行いました。

また、従業員の安否を確認するシステムを導入し、定期的な模擬訓練を年に2回実施しております。

(12) 設備等の改善

2025年度における設備投資は12両の新車車両を購入しており、車両にはバックモニターを装備、運転席に防犯対策としてアクリル板の装着を実施しております。また、運転中の乗務員の状態を常にモニタリングするシステム（DSM：ドライバーステータスマニター）を一部の車両に導入し、従来のドライバー異常時対応システム（EDSS）に連動することで、より安心・安全運行がサポートされます。

また、2050年カーボンニュートラルの達成や脱炭素社会の実現に貢献するとともに、地域や環境に優しい公共交通機関を目指すため、2024年度に続き2025年度、1月・2月にはEVバス(大型車1両・小型車1両)を導入いたしました。

江ノ電バスは、今後も環境に配慮した持続的な地域社会の実現に貢献いたします。そして、一般乗合路線バス車両は全車バリアフリー対応となっており、ノンステップ率は乗合車両全体で81.03%となっております。

| 内 訳 | 金 額 |
|----------------|----------|
| 車両の改善（12両） | 31,623万円 |
| 設備関係の改善等にかかる費用 | 17,713万円 |



DSM



EDSS

また、ドライブレコーダーを用いた安全教育および防犯に役立てられるよう、全車両にドライブレコーダーを搭載しておりますが、乗合車両においては従来の5カメラから最大10カメラまで撮影範囲を拡張しました。車内外の死角を減らし乗降時や交差点通過時など、さまざまな運行状況を詳細に記録する事で事故防止と原因究明の精度向上を図っています。さらにバス停及びバス停上屋の代替え、車両整備工場の設備改善として空調設備(エアコン)の設置を熱中症対策として設備投資を行っております。

一般貸切旅客自動車運送事業者が報告すべき事項(2026年3月31日現在)

1. 事業者ごとの情報

- (1) 事業者名 株式会社江ノ電バス
- (2) 代表者役職 代表取締役社長
- (3) 代表者氏名 飯塚 周次
- (4) 許可年度 1998年度
- (5) 主たる事務所の住所 神奈川県藤沢市片瀬海岸1-8-16
- (6) バス協会への加入状況 神奈川県バス協会に加入
- (7) 自動車車庫の箇所数 1箇所
- (8) 休憩仮眠施設の箇所数 1箇所
- (9) 届出運賃・料金の種別 公示運賃
- (10) 任意保険の加入状況 全車両加入済（対人保険・対物保険とも無制限）

(11) 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

| | |
|-----------|----|
| ・死亡事故件数 | 0件 |
| ・重傷事故件数 | 0件 |
| ・軽傷事故件数 | 0件 |
| ・物損事故件数 | 0件 |
| ・事故報告書件数 | 0件 |
| ・健康起因事故件数 | 0件 |

(12) 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

- | | |
|----------------------------|-----|
| ・直近3年間の運輸安全マネジメント評価に実施状況 | 実施済 |
| ・直近3年間の運輸安全マネジメントセミナーの受講状況 | 受講済 |

(13) 輸送の安全にかかわる内部監査について

- ・2025年度の実施回数 2回
- ・対象者 取締役社長 常務取締役 運輸部長
- ・監査結果(指摘の有無) 無

2. 営業所ごとの情報

(1) 貸切事業のある営業所・湘南営業所（神奈川県所在）

(2) 運転者に係わる情報

- ・正規雇用の運転者数 7人
- ・正規雇用以外の運転者数 0人
- ・正規雇用者の平均勤続年数 22年

(3) 運行管理者に係わる情報

- ・運行管理者の人数 5人（うち運転者と兼職している者は1人）
- ・運行管理補助者の人数 10人（うち運転者と兼職している者は2人）

(4) 整備管理者に係わる情報

- ・整備管理者の人数 2人（うち運転者と兼職している者はいない）
- ・整備管理者の補助者 26人（うち運転者と兼職している者は3人）

(5) 事業用自動車に係わる情報（貸切登録車）

| | 車両数 | 最古年式 | 最新年式 | 平均車齢 | ドラレコ 搭載車両 | デジタル式 運行記録計 | ASV 搭載 車両 | 主な 運行態様 |
|------|-----|-------|------|------|--------------|----------------|-----------------|----------------|
| 大型のみ | 6台 | 平成28年 | 令和2年 | 8.0年 | 6台 | 6台 | 6台 | 観光輸送 (昼間のみ) |

(6) 平均給与月額の水準 : A

(7) 社会保険加入者情報

| 健康保険 | 厚生年金 | 労災保険 | 雇用保険 |
|------|------|------|------|
| 7人 | 7人 | 7人 | 7人 |

6 内部監査結果及び改善措置

内部監査については安全管理規程第15条に基づき、安全統括管理者が監査責任者を指名し、監査責任者が在籍する江ノ島電鉄監査室より、自動車部と江ノ電バスの各営業所を監査いたしました。

【重点監査事項：関係法令等の遵守、安全重点施策、情報伝達・コミュニケーションの確保】その結果、指摘はございませんでした。

| 監査対象部門 | 監査実施期間 |
|---------------------|-----------------|
| 江ノ島電鉄 自動車部 江ノ電バス | 2025年9月3日～9月11日 |

7 輸送の安全 2025年度に関する業務計画

江ノ電バスグループでは、お客様への『安全』『安定』『安心』『快適』な輸送を目指して『運輸安全マネジメント』を推進いたします。また、経営トップをはじめ、全従業員が一丸となって経営理念を理解・実践いたします。安全、安心な輸送が求められる中、2026年度につきましても営業所と研修センターが連携し、従業員の教育・教習を通して事故の未然防止を図り、地域公共交通として、安全管理体制の整備と安全風土の定着・浸透により事故防止に取り組みます。

江ノ電グループ経営理念

江ノ電グループは、この地域に集う人々の
「かけがえのないと時間（とき）」
「やすらぎの心」
「ゆたかな暮らし」
の実現に貢献します。

重点目標

有責重大事故「**ゼロ**」

8 輸送の安全に関する組織体制

輸送の安全確保に関する組織体制・指揮命令系統及び事故、災害等が発生した場合における報告連絡体制については、安全管理規程第13条第1項に定めております。

9 安全統括管理者

2025年度 株式会社江ノ電バス 取締役 山崎 一賢

10 安全管理規程

「旅客自動車運送事業安全管理規程」参照

11 ご連絡先

安全報告書へのご感想、江ノ電バスグループの安全に関する取り組みについてご意見をお寄せ下さい。

江ノ島電鉄株式会社 自動車部

メール：bus@enoden-group.jp

URL: <https://www.enoden.co.jp/>